

県立取手松陽高等学校【総合的な探究の時間の全体計画】(令和 6 年度)

総合的な探究の時間の第 1 の目標

探究の見方・考え方を働きかせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようとする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようとする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学校の教育目標

学校・家庭・地域社会と緊密な連携を図りながら、教職員と生徒が協働して全ての教育活動に積極的に取り組み、明るく活力ある学校を目指す。具体的には、全日制普通科・美術科・音楽科を併せ持つ学校の特色を活かし、生徒の「生きる力」の育成と本校発展のために、教職員が明確な目標を持ち、教育実践の充実を図る。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- 1 様々な価値観が理解できるようになる。(知識・技能)
- 2 グループ活動を通して、情報の整理・分析・発表ができるようになる。(思考力・判断力・表現力)
- 3 仲間と共に課題解決意識を持って、行動できるようになる。(学びに向かう姿勢・人間性)

総合的な探究の時間の学習評価

- 1 様々な問題に対して知識を深めることができたか。
- 2 グループ活動をとおして、情報の整理・分析・発表ができるようになったか。
- 3 仲間と共に課題解決意識を持って、行動できるようになったか。

生徒の実態

- ・指示待ちの行動が目立ち、自主的な行動や判断力がやや不足している。
- ・更なる向上心や挑戦する意欲がやや低い。
- ・国内や国外の時事問題への関心が薄く、興味や関心の少ない生徒が多い。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・個に応じた指導体制
- ・特別支援アドバイザーとの連携
- ・養護教諭、スクールカウンセラー、外部医療機関等との連携
- ・教職員の共通理解と情報共有

目指す生徒の姿

- ・何事にも主体的に取り組み、自ら自主的な判断ができる生徒。
- ・何事にも目的意識を持ち、成長できる生徒。
- ・国内や国外で起きている時事問題への興味関心を高めるとともに、自らの知識や考えを深化できる生徒。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

- キャリア教育
- 人生設計
- プレゼンテーション
- 自己表現能力の醸成
- グローバル教育
- キャリア教育や地球市民教育の推進
- 探究活動の充実
- 自他敬愛の心を育む教育
- 郷土愛
- 主体性
- 生きる力(生き抜く力)
- 探究心・表現力

学習活動、指導方法等

- 生徒同士で教え合える A L の授業
- 実在する資料の読み取り
- 授業内での模擬授業の実施
- 教科横断型学習の充実
- 地球市民教育
- 講演会の充実(外部人材の活用)
- キャリアデザインコースとグローカルエデュケーション
- 道徳・総合的探究の時間の充実
- 達成感が得られる学校行事
- 課題研究(ディベート・プレゼンテーション)
- I C T 教育(パソコン・スマホ・タブレットの有効な使い方)
- ※リテラシーも含む
- スピーチ
- ボランティア活動

【環境整備】

- ・学校目標を明確にして、全職員が把握できる体制の構築
- ・校務分掌の充実と分掌間の連携体制の構築
- ・I C T 設備の充実と職務の I C T 化
- ・小中学校との情報交換体制の構築
- ・実生活に落とし込める指導法等の研修ができる体制の構築
- ・教員としてのスキルアップ向上のための研修体制の充実
- ・多様化する生徒や家庭環境に適切に対応できる体制の構築

【家庭・地域との連携】

- ・保護者との協力体制構築
- ・地球市民教育の活用
- ・地域での奉仕活動の実施
- ・美術科、音楽科での行事(定期演奏会、各種コンサート、美術科展)などの情報発信
- ・緊急メールの活用
- ・地域の小中学校や各種施設等での出前授業や発表会の実施等

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)